TRIAL WRITING METHOD AND RECORDING AND REPRODUCING DEVICE

Publication number: JP8339541
Publication date: 1996-12-24

Inventor:

MAEKAWA HIROSHI

Applicant:

RICOH KK

Classification:

- international:

G11B7/00; G11B7/125; G11B7/00; G11B7/125; (IPC1-

7): G11B7/00; G11B7/125

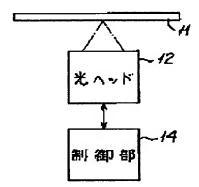
- european:

Application number: JP19950143170 19950609 Priority number(s): JP19950143170 19950609

Report a data error here

Abstract of JP8339541

PURPOSE: To suppress the fluctuation in recording powder corresponding to the change in the recording state on the inner and outer circumferences of a writable phase change type recording medium, such as phase change type optical disk, for which the standard does not yet exist. CONSTITUTION: This trial writing method comprises determining the optimum value of the recording power of a device for optically recording at least information on the phase change type recording medium 11 by trial writing of the phase transition type recording medium. The phase change type recording medium 11 is divided into plural zones and the respective data regions of these plural zones are respectively subjected to trial writing to find the optimum value of the recording power. This optimum value is used for subsequent information recording of the respective zones of the phase change type recording medium.



Data supplied from the *esp@cenet* database - Worldwide

(19) 日本国格群庁 (JP)

€ 翐 4 點 华 噩 (E2)

(11) 特許出顧公開番号

特開平8-339541

(43)公開日 平成8年(1996)12月24日

达格表示箇所

(51) Int.CL.		體別記号	广内整理番号	H I		#\$
G11B	2/00		9464-5D	G11B	2/00	M
	7/125				7/125	ပ

審査開水 未樹水 開水項の数9 〇L (全 14 頁)

(21)出取番号	特顧平7-143170	(71) 出國人 000006747	000006747
(22) HINE	平成7年(1995)6月9日		株式会社リコー東京の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の
Hilbert (ma)		(72) 発明者	ANNOVATION OF THE OFFICE THE OFF
			東京都大田区中馬込1丁目3番6号・株式
			会社リコー内
		(74) 代理人	井理士 樽山 亨 (外1名)

(54) [発明の名称] 試魯き方法及び記録再生装置

[目的] この発明は、標準の未だない相変化型光ディス ク等の書き換え可能な相変化型配録媒体における内外周 での記録状態変化に対応する記録パワーの変動を抑制す ることができるようにすることを目的とする。

なくとも情報の記録を行う装置における記録パワーの最 適値を相変化型配録媒体の試書きで求める試審き方法で あって、相変化型記録媒体を複数のゾーンに分けてこの 複数のゾーンの各データ領域の一部にそれぞれ試審きを 行って記録パワーの最適値を求め、この最適値を以後に この発明は、相変化型記録媒体に光学的に少 おける相変化型配録媒体の各ゾーンの情報記録に用いさ

品

色 聖

米ヘシア

【翻求項1】相変化型配録媒体に光学的に少なくとも情 報の配録を行う装置における配録パワーの最適値を前記 て、前記相変化型記録媒体を複数のゾーンに分けてこの 複数のゾーンの各データ領域の一部にそれぞれ試信きを 行って前配配録パワーの最適値を求め、この最適値を以 後における前配相変化型配録媒体の各ゾーンの情報記録 阳変化型配録媒体の試審きで求める試審き方法であっ に用いさせることを特徴とする試審き方法。

【静水項2】 請水項1配載の試審き方法において、前記 旧変化型記録媒体の試書きを行うデータ領域を前記複数 のゾーンでそれぞれ毎回の試審き毎に異なった位置とす ることを特徴とする試書き方法。 [請求項3] 相変化型記録媒体に光学的に少なくとも情 報の記録を行う装置における記録パワーの最適値を前記 **族データ記録を中断させ、該データ記録の位置の周辺で** この記録パワーの最適値でデータ記録を再開させること **て、前配相変化型記録媒体にあらかじめ定められた期間** を越えて連続したデータ配録が行われたことを検知して **試書きを行ってあらためて記録パワーの最適値を求め、** 相変化型配録媒体の試書きで求める試書き方法であっ を特徴とする試書き方法。

段再生装置。

20

[静水項4] 相変化型配験媒体に光学的に少なくとも情 報の配録を行う装置における配録パワーの最適値を前記 抜データ記録を中断させ、眩データ記録の位置の周辺の 再生信号から記録状態を判断し、配録状態が良好であれ ば引き続き同じ記録パワーでデータ記録を再開させ、記 を越えて連続したデータ配録が行われたことを検知して 段状態が良好でなければ試告きを行ってあらためて記録 て、前配相変化型配録媒体にあらかじめ定められた期間 パワーの最適値を求め、この記録パワーの最適値でデー 旧変化型配録媒体の試書きで求める試書き方法であっ タ記録を再開させることを特徴とする試書き方法。

タをデータ記録の再開時に優先して記録させることを特 [請求項5] 請求項3または4記載の試審き方法におい て、データ配録の中断中に外部から送られてきたデータ を一時記憶手段に記憶し、この一時記憶手段の記憶デー 散とする試書き方法。

情報の記録、再生を行う記録再生装置において、前記光 頭の発光パワーを設定値に制御する発光パワー制御手段 と、前記光源の出力光を前記相変化型記録媒体上に集光 れた光スポットの中心部からの反射光を第1の光検出器 に導く第2の光学系とを備え、前配発光パワー制御手段 【請求項6】光源を用いて光学的に相変化型記録媒体に が前配第1の光検出器の出力信号を一定に保つように制 する第1の光学系と、前配相変化型配録媒体上に集光さ 卸することを特徴とする配験再生装置。 【請求項7】請求項6記載の記録再生装置において、前 記和変化型記録媒体のデータ領域の一部に試審きを行っ て前記光源の記録パワーの最適値を求める試書き手段

特開平8-339541

8

光検出器の出力信号を前配第1の配億手段の配億値に保 の最適値での前配第1の光検出器の出力信号を配憶する 第1の記憶手段とを備え、前配発光パワー制御手段は前 配相変化型配録媒体にデータ配録を行う時に前配第1の **つように前記光顔の発光パワーを側御することを特徴と** と、この試審き手段により求めた前配光頌の記録パワー する配録再生装置。 【請求項8】請求項6記載の記録再生装置において、前 配光顔の出力光の一節を第2の光検出器に導く第3の光 替きを行って前配光顔の配録パワーの最適値を求める試 書き手段と、この試書き手段により水めた前配光顔の配 手段は前配相変化型配録媒体にデータ配録を行う時に前 学系と、前記相変化型配録媒体のデータ領域の一部に試 碌パワーの最適値での前配第2の光検出器の出力信号を 配憶する第2の配億手段とを備え、前配発光パワー制御 配第1の光検出器の出力信号を一定に保つように前配光 顔の発光パワーを制御するとともに、前配類2の光検出 器の出力信号を前配第2の配億手段の配億値に保つよう に前配光源の発光パワーを制御することを特徴とする配 2

【請求項9】請求項8記載の記録再生装置において、前 配発光パワー制御手段はデータ配録時に前配第2の光検 出器の出力信号を前配第2の配億手段の配億値に保つよ うに前配光版の発光パワーを制御することに優先して前 記第1の光検出器の出力僣号を一定に保つように前記光 原の発光パワーを制御することを特徴とする配録再生装

[発明の詳細な説明]

[0000]

【産業上の利用分野】本発明は試費き方法及び記録再生 装置に関する。

[0002]

時劣化及びゴミ付着に伴う感度変化、発光パワー変化な 【従来の技術】記録可能な光ディスクは、その記録媒体 や光ディスク装置のレーザダイオードからなる光源の経 そこで、光ディスクの試缶き領域でレーザダイオードの 記録パワーを段階的に変化させて情報を試事きし、その 後試書き領域から情報を再生して再生信号の状態から最 適な記録条件を求め、以後は情報を光ディスクのデータ 領域にその求めた最適な配録条件で配録させるものがあ どを補正して最適な条件で情報を記録する必要がある。 40

【0003】現在、配録可能なCD(コンパクトディス ク)系光ディスク(例えばCD-R)では、実質的に標 準であるオレンジブック規格にある内周での試審さが行 われている。また、オレンジブック規格では、Runn ing-OPCといわれる記録時の光ディスク反射光を 検出して記録マークの生成状態を観察し、最適な記録状 態を保つ方式が提案されている。

[0004]また、特開平5一54183号公報には、

20

-2-

毎四平8-339541

トラックエラー信号から光ディスクのチルトを検出して記録パワーを適正に補正する光学的記録装置が記載されている。特開平6ー231463号公報には、光ディスクにセクサ単位で試容を含行い、その試書き領域がデータ領域ではなくてフォーマット上に存在する光学的情報記録再生装置が記載されている。

[0005]

「発明が解決しようとする顧囧」光ディスクに情報を長時間にわたって記録する場合には、光ディスクの内周と外面とでは光ディスク変響内の温度変化によるレーザダイオード、光学部品、光ディスクの記録媒体の特性変化や光ディスク記録媒体の成り値き(テルト)等によりレーザダイオードからのレーザ光の光ディスク画上でのパワーが変わってしまう。

9

【0006】また、相変化型光ディスクは、レーザダイオードからのレーザ光の照射中に記録マークが形成されるのではなく、レーザ光の照射後の冷却状態の違いから記録マークが形成されるので、上記方式で上配Runningマークが形成されるので、上記方式で上配Runningマークの生成状態を視録することができない。また、CD系光ディスクのフォーマットでは、データ系光ディスクにあったセクタ概念がなく、連続したデータを記録する必要があり、試確きで最適な記録条件を求めることができない。

20

【0007】本発明は、上記問題点を改善し、標準の未だない相変化型光ディスク等の書き換え可能な相変化型記録媒体における内外周での記録状態変化に対応する記録パワーの変動を抑制することができる試験き方法及び記録再生装置を提供することを目的とする。

[8000]

30

【原題を解決するための手段】上記目的を達成するため、前水項1配線の発明は、相変化型配砂媒体に光学的に少なくとも情報の配録を行う装置における配録パワーの最適値を前記相変化型配砂媒体の試事きで求める試書されたであって、前記相変化型配砂媒体を試数のゾーンに分けてこの複数のゾーンの分データの試験の一部にそれぞれは古きを行って前配配録パワーの最適値を求め、この最適値を以後における前配相変化型配段媒体の各グーンの情報配縁に用いさせる。

(000) 静水道に高いる。 (000) 静水道において、前部相変化型配線媒体の試費を行 ラデータ領域を前記複数のメーンでそれぞれ毎回の試費 き毎に異なった位置とする。

\$

[0010]請求項3配総の発明は、相変化型配験媒体に光学的に少なくとも情報の記録を行う装置における記録がワーの最適値を前記相変化型記録媒体の試事きで求める試書き方法であって、前記相変化型記録媒体にあらかじめ定められた期間を越えて連続したデータ記録が行われたことを検知して接データ記録を中断させ、様データ記録の位置の周辺で試書きを行ってあらためて記録が、30

ワーの最適値を求め、この記録パワーの最適値でデータ 毎終本用照キサキ [0011] 耐水質4配線の発明は、相変化型配路媒体 に光学的に少なくとも情報の配録を行う装置における配 録パワーの接適値を削配相変化型配録媒体の試事をで求 める試事き方法であって、前配相変化型配録媒体にあら かじめ定められた期間を越えて連接したデータ配録が行 われたことを後知して様データ記録を中断させ、様デー が配録の位置の周辺の再生信号から記録状態を判断し、 配録状態が良好であれば引き続き同じ記録パワーでデー を記録を再開させ、記録状態がし好のなければ試書きを 行ってあらためて記録パワーの最遠値を求め、この記録 パワーの張遠値でデータ記録を再開させる。

[0012] 静水項5配線の発明は、静水項3または4 配線の紋巻き方法において、データ配縁の中断中に外断から送られてきたデータを一時配像手段に配億し、この一時記像手段の配像データをデータを呼びの再開降に優先して配験させる。 [0013] 請求項6配級の発明は、光節を用いて光学的に相変化型記録媒体に情報の記録、再生を行う記録再生装置において、前配光部の発光パワーを設定値に制御する発光パワー制御手段と、前配光頭の出力光を前配相変化型記録媒体上に集光する第1の光学系と、前配相変化型記録媒体上に集光する第1の光学系と、前配相変の対光を第1の光検出器においての対光を第1の光検出器の出力情報を光パワー間線手段が前配第1の光検出器の出力情報を一定に保っように関節するものである。

【0014】請求項7記級の海明は、請求項6記級の記 録再生装置において、前記相変化型記録媒体のデータ個 級の一部に試費きを行って前記光源の記録パワーの最適 値を求める試費き手段と、この試費き手段により求めた 前記光源の記録パワーの最適値での前記第1の光検出器 の出力信号を記憶する第1の記憶手段とを備え、前記発 光パワー側導手段は前記相変化型記録媒体にデータ配験 を行う時に前記第1の光検出器の出力信号を前記第1の 記憶手段の記憶値に保っように前記光源の発光パワーを 制御するものである。

[0015] 静水角 8 記載の発明は、静水角 6 記載の記録 存在生性性において、前記光源の出力光の一部を第2の光検出器にはく第3の光学系と、前記相変化型記録媒体のデータ領域の一部に対击されて前記光源の記録パワーの最適値を求める試量きませた。このは音き程により求めた前記光源の記録パワーの最適値での前記第2の光検出器の出力信号を記憶する第2の記憶年段とを備え、前記発光パワー制御手段は前記相変化型記録媒体にデータ記録を行う時に前記第1の光検出器の出力信号を備え、前記発光パワー制御手段は前記相変化型記録媒体にデータ記録を行う時に前記第1の光検出器の出力信号を備え、前記第2の光検出器の出力信号を向にに、前記第2の光検出器の出力信号を向に、前記第2の光検出器の出力信号を向に、前記第2の光検出器の出力信号を向に、前記第2の光検出器の出力信号をからに対象を表示の元を制御するとのである。

【0016】 請求項9記載の発明は、請求項8記載の記録の記録再生装置において、前記署光パワー削御手段はデータ配録時に前記第2の光検出器の出力信号を前記第2の記憶手段の記憶値に保っように前記光頭の発光パワーを制御することに優先して前記第1の光検出器の出力信号を一定に保っように前記光쟁の発光パワーを制御するもの

[0017]

【作用】請求項1配館の発明では、相変化型配験媒体に 光学的に少なくとも情報の配録を行う装置における配録 パワーの最適値を相変化型配験媒体の試書きで求める試 パワーの最適値を相変化型配験媒体の試書きで求める試 分けてこの複数のメーンの各データ領域の一部にそれぞ わ試書きを行って記録パワーの最適値を求め、この最適 値を以後における相変化型配験媒体の各メーンの情報記 録に用いさせる。このため、契節のデータ配験状態と同 ビデータの試音き状態で最適な記録パローが求められ、 標準の未だない相変化型光ディスクの書き級え可能な相 類化型配験媒体における内外周での配録状態変化に対応 する記録パワーの変動が約個される。

[0018] 酵水項2記載の発明では、請水項1記載の 飲むき方法において、前記和変化型記錄媒体の飲事きを 行うデータ領域を前記複数のソーンでそれぞれ毎回の試 審き毎に異なった位置とする。このため、相変化型記録 媒体は試審きのデータ領域のみ審き換え回数が増加して 記録膜の劣化が発生するという不具合を避けて実際のデータ影響が超と同じデータの試響き状態を同じデータの試験を表

[0019] 請求項3記線の発明では、相変化型記録媒体に大学的に少なくとも情報の配録を行う装置における 配録パワーの最適値を相変化型記録媒体の試事さて求める試費き方法であって、相変化型記録媒体の試事さで求める試費き方法であって、相変化型記録媒体にあらかじめ 定められた期間を超えて連続したデータ記録が行われた ことを検知して統データ記録とすってあらためて記録が行われた ことを検知して統データ記録を中断させ、鉄データ記録 の位置の周辺で試書きを行ってあらためて記録パワーの 最適値を求め、この記録パワーの最適値でデータ記録を 再開させる。このため、相変化型記録媒体や光学系の反 り傾き、光顔や光学部品の遺成上昇による特性変化によ るフォーカスずれ、相変化型記録媒体の感度変化等によ る最適な記録パワーの変動成分が抑えられて最適な記録 パワーで長時間のデータ記録が行われる。

[0020]請求項4配線の発明では、相変化型配験媒体に光学的に少なくとも情報の配録を行う装置における配験パワーの最適値を相変化型配験媒体の試験をで求める試験を力からかて、相変化型配験媒体にあらかにめためられた期間を超えて連続したデータ配験が行われたことを検知して蘇データ配験を中断させ、鎮データ配験の位置の周辺の再生信号から配験状態を判断し、配験状態が良好であれば引き機を同じ配録パワーでデータ配験を再開させ、記録状態が良好でなければ試験きを行って

あらためて記録パワーの最適値を求め、この記録パワーの最適値でデータ記録を再開させる。このため、感復だらつきの少ない相変化型記録媒体へのデータ記録時やフォーカスずれが少ない時にはは母きを行うことによる時間や相変化型記録媒体の毎き換え回数の増大などの弊音が最小限に抑えられる。

[0021] 請求項5配載の発明では、請求項3または 4配載の試事き方法において、データ配録の中断中に外 部から送られてきたデータを一時記簿手段に記憶し、こ 10 の一時記憶手段の記憶データをデータ記録の再期時に優 先して記録させる。このため、外部からの連続したデー タの記録を行う場合でも外部からのデータ転送を中断す ることなしにデータ記録が行われる。 [0022]請求項の配載の発明は、発光ペワー制御事段が光潔の発光ペワーを設定値に耐御し、第10光学条が光潔の出力光を相変化型配験媒体上に集光する。第20光学系が相変化型配験媒体上に集光された光スポットの中心部からの反射光を第10光検出器に満き、発光パワー制御手及が第10光検出器の出力信号を一定に保フスラに開御する。このため、相変化型配験媒体の反り倒きやフォーカスずわ等で起こる相変化型配験媒体上の光スポットの中心部の配験パワーの変動が抑制されて最適な配験ペワーでデータ配換が行われる。

2

[0023] 請求項7記載の発明では、請求項6記載の 配録再生装置において、試費き手段が相変化型記録媒体 のデータ領域の一部に試筆きを行って光顔の記録パワー の最適値を求め、この試費き手段により求めた光顔の記 録パワーの最適値での第1の光検出器の出力信号が第1 の記憶手段により記憶される。発光パワー制御手段は相 変化型配録媒体にデータ記録を行う時に第1の光検出器 の出力信号を第1の記憶手段の記憶値に保っように光顔 の発光パワーを開御する。このため、試費き時に発生していた相変化型記録媒体のチルト、デフォーカスによる 相変化型記録媒体レーンボットのずれの状況が補正されて最適な記録パワーでデータ記録が行われる。

38

[0024] 請求項 8 配線の発明では、請求項 6 配線の 配線再生装置において、第 3 の光学系が光顔の出力光の 一部を第 2 の光镜出器に導き、試會主程の作型医 軽媒体のデータ領域の一部に試費きを行って光顔の配路 40 パワーの最適値を求める。試費き年段により求めた光顔 の配線パワーの最適値を求める。試費き年段により求めた光顔 の配線パワーの最適値をおめる。試費を手段により求めた光顔 の配線パワーの最適値をおり。試費を手段により求めた光顔 第 2 の記憶年段により記憶をお、現光パワー制卸手段は 相変化型配線媒体にデータ配線を行う時に第 1 の光嶺田 部するともに、第 2 の光镜田器の出力信号を第 2 の記 第 2 ともに、第 2 の光镜田器の出力信号を第 3 の記 第 2 ともに、第 2 の光镜田器の出力信号を第 2 の記 は手段の配億値に保っように光顔の発光パワーを同 卸するともに、第 2 の光镜田器の出力信号を第 2 の記 は 2 のため、光顔の出力変動成分と相変化型記録媒体 上の光スポットのパワー変動成分と前図上で開御き 上の光スポットのパワー変動成分とが区別して開御き

S

特開平8-339541

データ記録が行われる。

出値による光顔発光パワー制御が行われ、より最適な記 段時に第2の光検出器の出力信号を第2の記憶手段の記 先して第1の光検出器の出力信号を一定に保つように光 [0025] 請水項9記載の発明では、請水項8記載の 配録再生装置において、発光パワー制御手段はデータ配 顔の発光パワーを制御する。このため、大きな記録状態 変化の要因となる相変化型配録媒体上の光スポットのパ ワー変動がまず抑えられた上でさらに光原出力変動の検 **憉値に保つように光原の発光パワーを制御することに優** 録パワーでデータ記録が行われる。

[0026]

ト記録をするために、例えば半導体レーザからなる光顔 晶化し、比較的弱い消去パワーで配録膜を結晶化温度に の発光パワーとして記録及び消去の最低2値の異なるパ カニズムは、図3に示すように光顔からの強い配録パワ 一で記録膜を融点以上に熱して急冷すると記録膜が非結 熱して冷ますと記録膜が結晶化し、この記録膜の非結晶 化状態と結晶化状態とで反射率が異なることを利用して 情報を記録する。この相変化型光ディスクがWORM型 イスクでは配録マークが配録光通過後に形成される点で 光ディスク装置からなる記録再生装置にてオーバーライ ワーが必要である。光ディスクに情報を記録する記録メ (追配型) 光ディスクと大きく違う点は、相変化型光デ [実施例] 相変化型光ディスクの相変化型配験媒体は、

【0027】このような相変化型光ディスクでは、光デ イスク装置の光顔や光ディスク配録媒体の経時変化等に 対応するために、情報を記録する前に試審きで光顔の最 変化させて光ディスクに情報を配録し、その後にその情 号の配録状態から光顔の最適な配録パワー及び消去パワ て、光顔の配録パワーと消去パワーをそれぞれ段階的に 報を再生してその再生信号の記録状態を検出して再生信 適な記録パワー及び消去パワーを検出する必要がある。 この試審き方法としては、例えば記録再生装置におい 一を求めるものが提案されている。

ンメトリが変化することを利用する例がある。通常、再 【0028】ここに、再生信号の状態から情報の配録状 て光ディスクに情報を記録すると、その再生信号のアシ 態を検出する例としては、光顔の配録パワーを変化させ 生信号のアシンメトリβは、AC結合した(AC分のみ を取り出した)再生储号の+側と、-側の振幅の最大値 をそれぞれA1、A1とすると、

$\beta = (A_1 + A_2) / (A_1 - A_2)$ で表わされる。

3種類の再生信号の波形は長マークと短マークの連続記 【0029】すなわち、再生債号のアシンメトリは、長 る。図4はその様子を示す。図4 (a) ~ (c) に示す マークと短マークの再生信号平均値レベルの整といえ

たぞれ次の状態 (a) ~ (c) を扱わす。

- (a) 配録パワーが弱くて全体的に記録マークが短い。 (b) 最適な記録パワーで記録マークが記録されてい
- このように再生信号のアシンメトリの絶対値が最小(+ なお、光学系によってはアシンメトリが若干存在す (c) 配録パワーが強くて全体的に配録マークが長い。 0)となる記録パワーを最適な記録条件として検出す る記録パワーを最適とする場合もある。
- [0030] 請水項1配載の発明を適用した配録再生装 1の相変化型配録媒体に光ヘッド12により光学的に情 蝦の配録、再生を行う光ディスク装置からなる配録再生 装置において、相変化型光ディスク 1 1 の相変化型配録 媒体におけるデータ配録を行うデータゾーンを複数のゾ ーンに分割し、各分割ゾーンにおけるデータ領域でそれ ぞれ試告きを行って光ヘッド12内の半導体レーザから 相変化型光ディスク 1 1は、くり返し告き換え可能であ 置の一例では、図1に示すように相変化型光ディスク1 るため、データ領域内で試審きを行う領域を特に規定す なる光顔の最適な配録パワー及び消去パワーを求める。 る必要はない。 9

【0031】相変化型光ディスク11の相変化型配験媒 体のレイアウトでは図5に示すように最内固及び最外周 に各種情報が記録されており、その挟間がデータソーン になっている。相変化型光ディスク11の相変化型配録 く、この相変化型光ディスク11が光ディスク装置に装 **なされて傾き(チルト)が生じた状態で光顔から光スポ** 媒体は経時変化により外周がたわむように反ろことが多 ットが相変化型光ディスク11の盤面に照射される。

【0032】図6は相変化型光ディスク11上の合焦時 (チルト無し、デフォーカス無しの時) の光スポット強 度分布を示し、図1は相変化型光ディスク11上のチル ト時の光スポット強度分布を示し、図8は相変化型光デ イスク11上のデフォーカス (フォーカスずれ) 時の光 スポット強度分布を示す。相変化型光ディスク11は基 **坂11g上にランド11bとグルーブ11cが同心円状** もしくはスパイラル状に形成され、配験マーク11dが **钼変化型光ディスク 1 1 上の光スポット中心のピークバ** ワーppが低下し、合焦時における最適な配録パワーで **別えばグループ11 cに形成されて光ヘッド12におけ る半導体ワー扩かなのレー扩光13が光スポットとして** 【0033】相変化型光ディスク11上のチルトが発生 すると、図7に示すように相変化型光ディスク11上の 光スポット強度分布は図6に示すような合無時に比べて の記録マーク11dの形成と異なって記録マーク11d 照射されることにより情報の配録又は再生が行われる。 の形成が正確に行われなくなる。 8

ヘッド12を制御して相変化型光ディスク11の複数の [0034] そこで、この光ディスク装置の各部を制御 する制御手段としての制御部14は図2に示すように光

-5-

8

録部の再生信号をAC結合して観察したものであり、そ

データゾーンの各データ領域の一部にそれぞれ試験きを 行って配録パワー及び消去パワーの最適値を求め、この 配録パワー及び消去パワーの最適値を以後における相変 化型光ディスク 1 1 の各データゾーンの情報配録に用い

た半径毎にデータの試書きを行わせるとともに、それら [0035] すなわち、制御部14は、あらかじめ、相 変化型光ディスク11に長時間のデータ配録を行う前の 以書き時に、光ヘッド12に対して、相変化型光ディス ク11の相変化型配録媒体におけるデータ領域に異なっ のデータの試審きを行ったデータ領域からデータを読み 散らせて再生個号を得、この再生信号から相変化型光デ イスク11のチルトを考慮した最適な配録パワー及び消 **去パワーを検知する。**

を行う時に、そのデータゾーンでの配録パワー及び消去 一に保しように光ヘッド12における半導体レーザの発 ッド12により長時間にわたる外部からのデータの記録 光パワーを制御することにより、相変化型光ディスク1 1のチルトにより記録パワー及び消去パワーが変化して [0036] しかる後に、制御部14は、相変化型光デ **ィスク 1 1 の相変化型記録媒体上のデータゾーンに光へ** パワーを試書きで求めた最適な配録パワー及び消去パワ 記録マークの形成に影響することを最小限に拍える。

用した配録再生装置の例は、相変化型光ディスク11の 田変化型配録媒体に光学的に少なくとも情報の配録を行 を複数のゾーンに分けてこの複数のゾーンの各データ傾 【0037】このように、この請求項1記載の発明を適 う光ピックアップ装置における半導体レーザからなる光 頭の配録パワー及び消去パワーの最適値を相変化型記録 媒体の試書きで求めるものであって、相変化型記録媒体 域の一部にそれぞれ試審きを行って配録パワー及び消去 な記録パワー及び消去パワーを求めることができ、標準 る記録パワー及び消去パワーの変動を抑制することがで パワーの最適値を求め、この最適値を以後における相変 英際のデータ記録状態と同じデータの試書き状態で最適 の未だない相変化型光ディスク等の審き換え可能な相変 化型配録媒体における内外周での配録状間変化に対応す 化型配録媒体の各ゾーンの情報配録に用いさせるので、

[0038] 請求項2記載の発明を適用した記録再生装 状態と同じデータの試審き状態で最適な配録パワー及び 生装置の例において、制御部14が、相変化型光ディス 異なった位置とするようにしたものである。このような **構成の請求項2記載の発明を適用した記録再生装置の例** では、相変化型光ディスク11の相変化型配録媒体は試 審きのデータ領域のみ審き換え回数が増加して配録膜の 劣化が発生するという不具合を避けて実際のデータ配録 置の一例は、上記師水項1配穀の発明を適用した記録再 領域を複数のデータゾーンでそれぞれ毎回の試審き毎に ク11の相変化型配録媒体における試審きを行うデータ

特限平8-339541

【0039】図9は静水項3記載の発明を適用した記録 消去パワーを求めることができる。

て、制御部14は、ステップS1で光ヘッド12により られた時間もを超えたデータ配録が行なわれた場合には 請求項2記載の発明を適用した記録再生装置の例におい 相変化型光ディスク11の相変化型配像媒体にあらかじ タ配録)が行なわれたか否かを判断し、あらかじめ定め ステップS2で外部からのデータの光ヘッド12への版 再生装置の一例の動作フローを示す。 この例では、上記 送を停止してステップS3で光ヘッド12によるデータ め定められた時間 t を越えたデータ配録 (長時間のデ 記録を中断させる。

[0040] そして、制御部14は、ステップS4で光 ヘッド12を制御して相変化型光ディスク11の相変化 型記録媒体において今データ記録を中断した位置の周辺 (データ配録に支障とならない位置) で試審きを行って 配録パワー及び消去パワーの最適値を求め、ステップS 5 でその記録パワー及び消去パワーの最適値を光ヘッド 12の半導体レーザによる配録パワー及び消去パワーと して設定する。しかる後に、制御部14は、ステップS 6 で外部からのデータの光ヘッド12への転送を再開し てステップS1で光ヘッド12による光ヘッド12のデ 一夕配録を再開させる。 [0041] 光ディスク装置は、相変化型光ディスク1 1 に対する長時間のデータ配録で内部温度が急激に上昇 するので、あらかじめデータ配録を行なう前に行う試告 きで、キャンセルできない最適な配録パワー及び消去パ ワーの変動成分、例えば相変化型配録媒体や光学系の反 り傾き、光ヘッド12の半導体レーザからなる光顔や光 学部品の温度上昇による特性変化による図8に示すよう なフォーカスずれ、相変化型光ディスク 1 1 の相変化型 記録媒体感度変化等による最適な記録パワー及び消去パ ワーの変動成分を抑える必要がある。そこで、この例で は、上述のようにあらかじめ定められた時間もを越えた **試告きで最適な記録パワー及び消去パワーを求めて設定** データ記録が行なわれた場合にデータ記録を中断させ、 した後にデータ配録を再開させる。

30

【0042】このように、精水項3配畝の発明を適用し た配録再生装置の例は、相変化型光ディスク11の相変 化型配録媒体に光学的に少なくとも情報の配録を行う光 ディスク装置における配録パワーの最適値を相変化型配 験媒体の試書きで求めるものであって、相変化型配験媒 体にあらかじめ庇められた期間 t を越えて逆殺したゲー タ配録が行われたことを検知して核データ配録を中断さ せ、跛データ配録の位置の周辺で試審きを行ってあらた めて記録パワー及び消去パワーの最適値を求め、この記 除パワー及び消去パワーの最適値でデータ配録を再開さ せるので、相変化型配録媒体や光学系の反り傾き、光へ ッド12の半導体レーがからなる光顔や光学部品の温度 上昇による特性変化によるフォーカスずれ、相変化型記

8

段媒体の感度変化等による最適な記録パワー及び消去パ

置の例は、上記請求項3記載の発明を適用した記録再生 を減らしてデータ記録時間の短縮を図るものであり、図 **脚部14は、ステップS1で光ヘッド12により相変化** 型光ディスク11の相変化型配録媒体にあらかじめ定め ワーの変動成分を抑えて最適な記録パワー及び消去パワ 【0043】請水項4配敏の発明を適用した配録再生装 装屋の例において、データ記録中における試審きの回数 10はその動作フローを示す。この例では、上配請求項 3 記載の発明を適用した記録再生装置の例において、側 段) が行なわれたか否かを判断し、あらかじめ定められ た時間もを越えたデータ配録が行なわれた場合にはステ られた時間もを越えたデータ配像(長時間のデータ配 **一で長時間のデータ記録を行うことが可能となる。**

9

型配録媒体において今データ配録を中断した位置の周辺 (データ配録を行った位置) からデータを再生させ、そ の再生信号の良否をチェックして再生信号が良好であれ ぱステップ S B で外部からのデータの光ヘッド12への 転送を再開してステップS9で光ヘッド12のデータ配 【0044】そして、慰御町14は、ステップS4で光 ヘッド12を制御して相変化型光ディスク11の相変化 録を再開させる。

S7でその記録パワー及び消去パワーの最適値を光ヘッ S8で外部からのデータの光ヘッド12への転送を再開 [0045] また、制御町14は、再生信号が良好でな ければステップS6で今データ記録を中断した位置の周 辺(データ記録に支障とならない位置)で試書きを行っ て配録パワー及び消去パワーの最適値を求め、ステップ として散定する。しかる後に、側御部14は、ステップ ド12の半導体レーザによる記録パワー及び消去パワー してステップS9で光ヘッド12のデータ記録を再開さ

ータ記録時やフォーカスずれの少ないデータ記録時には 化型配録媒体に光学的に少なくとも情報の配録を行う光 ディスク装置における記録パワー及び消去パワーの最適 夕記録を中断させ、該データ記録の位置の周辺の再生信 し、配録状態が良好でなければ試害きを行ってあらため て記録パワー及び消去パワーの最適値を求め、この記録 パワー及び消去パワーの最適値でデータ配録を再開させ るので、感度ばらつきの少ない相変化型配験媒体へのデ た配録再生装置の例は、相変化型光ディスク11の相変 栢変化型配録媒体にあらかじめ定められた期間もを越え て遊脱したデータ配録が行われたことを検知して眩デー **号から記録状態を判断し、記録状態が良好であれば引き** 続き同じ配録パワー及び消去パワーでデータ配録を再開 【0046】このように、請水項4記載の発明を適用し 値を相変化型記録媒体の試審きで求めるものであって、

試審きを行うことによる時間や相変化型配録媒体の審き 煥え回数の増大などの弊害を最小限に抑えることができ [0047] 静水項5配畝の発明を適用した配録再生装 置の一例は、上記請求項3記載の発明を適用した記録再 生装置の例において、データ配録の中断中に外部から送 タ記録の再開後に一時記憶手段に記憶してあるデータを 優先して時間の古いものから順に光ヘッド12〜転送し て相変化型配録媒体に配録するようにしたものである。 られてくるデータを一時記憶手段に記憶しておき、デ

R V 部) 19 で光ヘッド12 の半導体レーザからなる光 [0048] 図11は、この例の一部を示す。この例で は、上配請求項3配畝の発明を適用した配録再生装置の tln First Out)メモリで実現され、外部 のホストコンピュータから送られてきたデータはインタ ーフェース (1 /F) 都15を介してパッファメモリ1 たデータは、直接的にエラーコレクションコード(E C C) 郎17に入力されてエラーコレクションコードが付 例において、一時記憶手段が例えばFIFO(Firs 【0049】 纸米☆ホストコンピュータから港られてき 6に格納されることで、この装置内に受け入れられる。 加された後にエンコーダ(ENC)部18で変闘され、 顔を駆動して相変化型配験媒体に記録していた。 20

停止してステップS3で光ヘッド12によるデータ記録

ップS2で外部からのデータの光ヘッド12~の転送を

[0050] この例では、ECC部17の前に一時記憶 からなる制御手段21は、通常はパッファメモリ16か ヘデータを転送させる。このパッファメモリ16からの ゲータはECC部17にてエラーコレクションコードが 付加されてENC部18で変闘され、その変闘データに ザからなる光源を駆動して相変化型配録媒体にデータ記 ら直接もしくは一時配億手段20を介してECC部17 柄ムこん I D D R V 焦 1 9 た光ヘッド 1 2 6 半導体 7 − 手段20が挿入され、マイクロコンピュータ (CPU) 段を行わせる。

て試験きを行う場合又はデータ再生のためにデータ記録 を中断した時には、外部のホストコンピュータから送ら れてきて1/F部15を介してパッファメモリ16に格 [0051]また、CPU21は、データ記録を中断し **的されたデータを一時記憶手段20に一時的に格納す**

40

ータを転送させる。したがって、データはホストコンピ る。 CPU21 は、データ記録を再開した時には一時記 **箇手段20からデータを時間の古いものから順にECC** 即17~転送させ、その後にパッファメモリ16から直 **肢もしくは一時記憶手段20を介してECC部17ヘデ** ュータから送られてきた順に相変化型配録媒体に記録さ 【0052】また、請水項5配畝の発明を適用した配録 再生装置の他の例は、上記請求項4記載の発明を適用し た記録再生装置の例において、上述の請求項5記載の発 明を適用した記録再生装置の例と同様に図11に示す回

<u>@</u>

路でデータ記録の中断中に外部から送られてくるデータ を一時記憶手段20に記憶しておき、データ記録の再開 後に一時記憶手段20に記憶してあるデータを優先して 時間の古いものから順に光ヘッド12〜転送して相変化 型配録媒体に配録するようにしたものである。

中に外部から送られてきたデータを一時配億手段20に 配億し、この一時記憶手段20の記憶データをデータ記 [0054] 図12は翻水項6記載の発明の一実施例の 媒体上に光スポットとして照射する光学系24と、半導 化型配録媒体上の光スポットの中心部分からの反射光を [0053] このように、請水項5配穀の発明を適用し た記録再生装置の例は、請求項3または4配敬の発明を **適用した配録再生装置の例において、データ記録の中断** 録の再開時に優先して記録させるので、外部からの連続 したデータの配録を行う場合でも外部からのデータ転送 一部を示す。この実施例では、上記算水項1配載の発明 は、朝御部14に含まれるレーザパワー制御手段22に より制御駆動される半導体レーザからなる光顔23の出 力光を集光して相変化型光ディスク 1 1 の相変化型配録 体レーザ23の出力光の一部を光検出器25に導いて受 光させる光学系26と、相変化型光ディスク11の相変 を中断することなしにデータ記録を行うことができる。 を適用した記録再生装置の例において、光ヘッド12 光検出器27に導いて受光させる光学系28とを有す

ットとして照射し、光学系26は半導体レーザ23の出 【0055】光学系24は半導体レーザ23の出力光を コリメートレンズ29により平行光としてピームスプリ ッタ30、31を介して対物レンズ32により集光して 相変化型光ディスク11の相変化型配験媒体上に光スポ 力光の一部をピームスプリッタ30で反射させて集光レ ンズ33で光スポットとして集光して光検出器25に受 光させることで半導体レーザ23の出力光量を検出す 【0056】光学系28は、相変化型光ディスク11の 相変化型配録媒体上の光スポットの中心部分からの反射 **糸や粒飽ワンズ32、ピームスプリッタ31、鐵光ワン** メ34及びアパーチャ部村35のアパーチャを介して徴 小な光検出器27に導いて受光させることで、相変化型 レーザパワー制御手段22は、光検出器27の出力信号 に基づいて相変化型光ディスク 1 1の相変化型配録媒体 上の光スポットの中心部分の光量が一定になるように半 配録媒体上の光スポットの中心部分の光量を検出する。 導体レーザ23を制御する。

【0057】相変化型光ディスク11の相変化型配録媒 体上の光スポットの中心部分の光畳は、相変化型配録媒 体上でのデータ記録状態を顕著に示す。相変化型記録媒 体上の光スポットの強度分布は例えば図6~図8に示す ように光スポットの合焦時、相変化型光ディスク 1 1 の チルト時、光スポットのデフォーカス(フォーカスず

特理 18 - 339541

れ)時で異なり、相変化型配録媒体上の光スポットの中 **いかのパークパワー p p が大やく好行する。** [0058] 一般に、相変化型配解媒体上の光スポット **強度になる径を言うので、ここでは、相変化型配録媒体** パワー制御手段22が光検出器27の出力信号に基乙い て相変化型光ディスク11の相変化型配録媒体上の光ス ポットの中心部分の光量が一定になるように半導体レー ザ23を制御することにより、相変化型配録媒体の記録 状態を一定に保つことができる。なお、従来の光ディス ク装置において、相変化型記録媒体の反射光を受光する 光検出器は、相変化型配録媒体上の光スポットの広い領 上の光スポットの中心的は、ピークパワーppの1/e 精度がよくなる。したがって、この奥施例では、レーザ 田からの反射光を受光してその受光量の積分値を出力し ていたので、相変化型配録媒体の反射光量の分布にかか の径はピークパワーppの1/e² (約13.5%)の の強度以上になる径と規定するが、範囲を狭めるほど **りる記録状態変化を検出することができなかった。** 9

[0059] 図13は、この奥施例の--- 部を示す。上記 光検出器27の出力信号は増幅器36にて演算増幅され (加算でもよい) され、レーザパワー制御手段22が頑 **解器37の減算結果をもとに相変化型光ディスク11の** |按化型記録媒体上の光スポットの中心部分の光量が一 **て放算器37にてあらかじめ設定された目標値と減算** 定になるように半導体レーザ23を制御する。 20

は、半導体レーザからなる光顔23を用いて光学的に相 変化型配録媒体に情報の配録、再生を行う光ディスク装 ザパワー制御手段22と、光限23の出力光を相変化型 記録媒体上に集光する第1の光学系24と、相変化型配 え、発光パワー制御手段22が第1の光検出器27の出 【0060】このように、肺水項6配穀の発明の実施例 置からなる記録再生装置において、光顔23の発光パワ **段媒体上に集光された光スポットの中心部からの反射光** 力信号を一定に保つように制御するので、相変化型光デ イスク11の反り倒き (チルト) やフォーカスずれ等で **旨こる相変化型配録媒体上の光スポットの中心部の配録** パワー及び消去パワーの変動を抑制して最適な配録パワ **一を設定値に制御する発光パワー制御手段としてのレー** を第1の光検出器27に導く第2の光学系28とを備

【0061】図14は請求項7記載の発明の一実施例の -及び消去パワーを決定した時の増幅器36の出力信号 が目標値として減算器37に与えられる。配億手段38 は、例えばA/D変換器39、CPU40、D/A変換 --部を示す。この奥施例では、上配請求項6配畝の発明 の実施例において、試審さを行った際に最適な記録パワ が記憶手段38で記憶され、この記憶手段38の記憶値 一及び消去パワーでデータ記録を行うことができる。 器41及びメモリ41により構成される。

【0062】試審きを行った際には、増幅器36の出力 信号がA/D変換器39によりデジタル化され、CPU

8

9

特別平8-339541

40が名配録パワー毎にA/D変換器39の出力値をメモリ41に記憶する。そして、CPU40は、A/D変換器39の出力値から上途のように最適な配録パワー及び消去パワーを決定し、その最適な記録パワー及び消去パワーに対応するメモリ41の記憶値を離み出してD/A変換器41でプナログ化させて目頃値として碳算器37~出カギャる。

[0063]このように、額求項7配載の強弱の実施的は、額求項6配載の配配の実施的は、 解集体のデータ価域の配録再生装置において、相変化型配 軽媒体のデータ低端をパーの最適値を求める試事等 としての師御部14と、この試験き手段14により求め た光版23の配録パワー及び消去パワーの最適値での第 10光検出器27の出力信号を記憶する第1の記憶手段 38とを備え、発光パワー側御手段としてのレーザパワー側御手段22は相変化型記録媒体にデータ記録を行う 時に第1の光検出器27の出力信号を第1の記憶手段3 8の記憶値に保っように光顔23の発光パワーを側御す ろので、試費き時に発生していた相変化型記録媒体のチルト、デフォーカスによる相変化型記録はに発生とのは かト、デフォーカスによる相変化型記録媒体上の光スポットのずれの状況を補正して最適な配録パワー及び消去 パワーでデータ記録を行うことができる。

[0071]

【0064】図15は請求項8記載の発明の一実施例の一部を示す。この実施例は、上記請求項6記載の発明の 実施例において、光顔23の出力をモニタする部分を設 けたものである。光学系26は半導体レーザ23の出力 光の一部をビームスプリッタ30で反射させて鎮光レン ズ33で光スポットとして鎮光して光検出器25に受光 させることで半導体レーザ23の出力光量を検出する が、この光検出器25の出力信仰編器43にて演算 [0065] 試審きを行った際に増幅器43の出力信号が記憶手段44で記憶され、最適な記録パワー及び消去パワーが決定された時の増幅器43の出力信号が目標値と対グ一が決定されて時の省にあらかじめ股定された目標値と対算(加算でもよい)される。レーザパワー制御手段22は英路345の出力光量が一定になるように半導体レーザ23を削御する。配億手段44は、例えばA/D変機器46、CPU47、D/A変機器48及びメモリ49により構成され

[0066] 政審きを行った際には、増幅器43の出力信号がA/D変換器46によりデジタル化され、CPU47が各配録パワー毎にA/D変換器46の出力値をメモリ49に配修する。そして、CPU47は、A/D変換器46の出力値から上述のように最適な配録パワー及び消去パワーを決定し、その最適な配録パワー及び消去パワーに対応するメモリ49の記憶値を略み出してD/A変換器48でプナログ化させて目標値として破算器45~出力させる。

は、請求項6記載の記録再生装置において、光瀬23の を行って光顔23の記録パワー及び消去パワーの最適値 する第2の記憶手段44とを備え、発光パワー制御手段 としてのレーザパワー制御手段22は相変化型配験媒体 にデータ配録を行う時に第1の光検出器27の出力信号 を一定に保つように光顔23の発光パワーを制御すると ともに、第2の光検出器25の出力信号を第2の配億手 段44の記憶値に保つように光顔23の発光パワーを制 御するので、光顔の出力変動成分と相変化型配録媒体上 の光スポットの状態変化にかかわる相変化型配録媒体上 これらの各々の特徴を生かした最適な配録パワー及び消 【0067】このように、請求項8配敷の発明の実施例 出力光の一部を第2の光検出器25に導く第3の光学系 26と、相変化型記録媒体のデータ領域の一部に試審き を求める試審き手段としての制御部14と、この試書き 手段14により求めた光顔23の配録パワー及び消去パ ワーの最適値での第2の光検出器25の出力信号を配憶 の光スポットのパワー変動成分とを区別して制御でき、 去パワーでデータ記録を行うことができる。

20 [0068] 請求項9配額の発明の一実施例は、上配額 求項8配載の発明の実施例において、光学系25を用い て光検出器25の出力信号を配簿手段44の配修値に保 つように光版23の発光パワーを制御する耐御系25、 43~45、22と、光学系27を用いて光検出器27 の出力信号を一定に保っように光版23の発光パワーを 耐御する耐御系27、36、37、22を引者の観光パワーを 耐御系27、36、37、22を前者の制御系25、4 3~45、22より優先させ、レーザパワー制御手段2 2が光検出器27の出力信号を一定に保っように光版23の発光パワーを の出力信号を配慮手段44の配慮値に保っように光版23の発光パワーを側御手名ことに優先して光検出器25の出力信号を一定に保っように光版23の発光パワーを側御することに優先して光検出器25の出力信号を配慮手段44の配慮値に保っように光版23の発光パワーを側御することに優先して光検出器25の出力信号を配慮手段44の配慮値に保っように光版23の発光パワーを側御することに優先して光検出器25の独光パワーを側御することに優先して光検出器25の出力信号を配慮手段44の配慮値に保っように光版2

ルト、相変化型記録媒体上の光スポットのデフォーカス との関係を示す。相変化型配験媒体のチルト、相変化型 た場合にはピークパワーppが大きく変動し、相変化型 記録媒体上の光スポットの中心部分からの反射光による しかし、相変化型配彜媒体のチルト無しの時は、相変化 p p への相変化型配録媒体のチルトや相変化型記録媒体 ポットのデフォーカスをもとに光顔23の発光パワー制 **脚を行うには相変化型配録媒体のチルトや相変化型配録 媒体上の光スポットのデフォーカスに対する光検出器2** 7の検出信号変化が小さくて光源23の発光パワー制御 にほとんど作用しない。この場合は、光検出器25の出 [0069] 図16は、相変化型配録媒体上の光スポッ トの中心でのピークパワーppと相変化型配録媒体のチ 型配録媒体上の光スポットの合焦付近ではピークパワー 記録媒体上の光スポットのデフォーカスが著しく発生し **相変化型配録媒体のチルトや相変化型配録媒体上の光ス** 上の光スポットのデフォーカスの影響度が低いために、 光顔23の発光パワー制御を優先的に行う必要がある。

6

力借号により光顔23の発光パワーを制御することになる.

[0070]このように、請水項9記載の発明の実施的は、請水項8記載の記録再生装置において、発光パワー制御手段としてのレーザパワー制御手段22はデータ記録時に第2の光検出器25の出力信号を第2の記憶手段4の記憶値に保つように光蔵23の発光パワーを制御することに優先して第1の光検出器27の出力信号を一定に保つように光蔵23の発光パワーを制御するので、大きな配録状態変化の要因となる相変化型記録媒体上の光スポットのパワー変動をまず抑えた上でさらに光蔵出力変動の検出値による光蔵発光パワー制御を行うことができ、より最適な記録パワーでき、より最適な記録パワーでき、より最適な記録パワーでき、よりを直な記録パワーでき

【発明の効果】以上のように請求項1配線の発明によれば、相変化型配縁媒体に光学的に少なくとも情報の配録を行う装置における配録パワーの最適値を前配相変化型配録媒体を複数のソーンに分けてこの複数のソーンの各データ領域の一部にそれぞれ試すきを行って前記印録パワーの最適値を求め、この最適値を以後における句で、実際のデータ配録状態と同じデータの試審を状めらいとができ、環準の未だない相変化型光系メスクの書き換え可能な相変化型記録 ない相変化型光イスクの書き換え可能な相変化型記録 様体における内外周での記録状態を配けがあずる配録が

ることなしにデータ配録を行うことができる。

[0072] 請求項2記載の発明によれば、請求項1記 載の試費き方法において、前記相変化型記録媒体の試書 きを行うデータ領域を前記複数のゾーンでそれぞれ毎回 の試事き毎に異なった位置とするので、相変化型記録媒 体は試費きのデータ領域のみ書き換え回数が増加して記 縁膜の劣化が発生するという不具合を避けて実際のデー を取めることができる。

[0073]

| 10073]
| 10073]
| 10073]
| 10073]
| 10073]
| 10074とも情報の記録を行う装置における記録パワーの最適値を前記程保心型記録媒体の試験がフーの最適値を対して該データ記録を中断させ、
| 10074かれたことを検知して該データ記録を中断させ、
| 10074かれたことを検知して該データ記録を中断させ、
| 10074かれたことを検知して該データ記録を中断させ、
| 10074かれたことを検知しては対しを記録がフーの最適値でデータ記録がフーの最適値を求め、この記録パワーの最適値でデータ記録を再開させるので、相変化型記録媒体や光学系の反り傾き、光顔や光学部品の温度上昇による特性変化によるフォーカスずれ、相変化型記録媒体の感度変化によるフォーカスずれ、相変化型記録媒体の感度変化にこるフォーカスずれ、相変化型記録媒体の感度変化でによるフォーカスずれ、相変化型記録媒体の感度変化でによるフォーカスずれ、相変化型記録集体の感度変化でによるフォーカスずれ、相変化型記録集体の感度変化でによる最近には、相談を行うことが可能とな

[0074] 請求項4配線の発明によれば、相変化型配 學媒体に光学的に少なくとも僧報の配録を行う装置にお ける配録パワーの最適値を前記相変化型配録媒体の試費 きで求める試費き方法であって、前距相変化型配録媒体 にあらかじめ定められた期間を越えて道線したデータ配 録が行われたことを検知して菓デーダ配録を中断させ、 様好一ク配録の位置の周辺の再生信号から配録状態を判 断し、配録状態が負好でなければ引き機を同じ配録パワー でデータ配録を再開させ、配録状態が負好でなければ計 審きを行ってあらためて配録パワーの最適値を求め、で の配録パワーの最適値でデータ配録を再開させるので、 の配録パケーの最適値でデータ配録を再開させるので、 の配録パケーカスずれが少ない時には接着を再開させるので、 の配替を用のを指して一ク配録を再開させるので、 の配替を発してからい時には発音を行うことに よる時間や相変化型配数媒体の音をあつて、 ないませた。

[0075] 請求項5配載の発明によれば、請求項3または4記録の政事き方法において、データ配録の中断中に外部から送られてきたデータを一時配値手段に配億し、この一時配億手段の配億データをデータ配録の再開 30 時に優先して配録させるので、外部からの連続したデータの配録を行う場合でもが形からのデータを読を中断す [0076] 酵水質ら配載の発明によれば、光顔を用いて光学的に相変化型配験媒体に情報の配験、再生を行う配録再を発揮において、前配光쟁の発光パワーを設定値に開海する発光パワー側卸手段と、前配光級の出力光を前配指変化型配録媒体上に集光する第1の光学系と、前配接光心型配録媒体上に集光された光スポットの中心部からの反射光を第1の光検出器に導く第2の光学系とを備え、前配発光パワー側卸手段が前配第1の光検出器の出力信号を一定に保っように制御するので、相変化型配録媒体しの光スポットの中心部の配録パワーの変動を部関して最適な配録パワーでデータ記録を行うことがで

30

(0077) 酵水項7配線の発明によれば、酵水項6配 機の配酵再生装置において、前配相変化型配砂媒体のデータ回旋の一部に試費きを行って前配光頭の配縁状やアーの最適値を求める試事き手段と、この試審き手段により求めた前配光弧の配縁パワーの最適値での前配第1の光後出器の出力信号を開え、前配発光パワー側御手段は前配箱内変化型配線媒体にデータ配線を行う時に前配第1の光後出器の出力信号を備え、前配発光パワー側御手段は前配第1の光後出器の出力信号を備え、前配発光パケーが配簿を行う時に前配第1の光後出器の出力信号を備え、前配発上の配簿を行う時に前配第1の光後出器の出力信号を備え、10元を削算するので、試費き時に発生していた相変化型配線域体上の光スポットのずれの状況を補正して最適な配線パワーでデータ配線を行うことができる。

/ パープになるコンニにがいる。 【0078】 静水項8記載の発明によれば、精水項6記 戦の配縁再生装置において、前記光頭の出力光の一部を

-6-

20

年四十8-339541

(12)

[9図]

[E

[図2]

記録 ポルス

第2の光検出器に導く第3の光学系と、前配相変化型配 **碌媒体のデータ領域の一部に試書きを行って前記光顔の** の記憶手段の記憶値に保つように前記光源の発光パワー 記録パワーの最適値を求める試書き手段と、この試書き 手段により求めた前記光源の記録パワーの最適値での前 配第2の光検出器の出力信号を配憶する第2の配億手段 とを備え、前配発光パワー制御手段は前配相変化型配録 媒体にデータ記録を行う時に前記第1の光検出器の出力 るとともに、前配第2の光検出器の出力信号を前配第2 を制御するので、光顔の出力変動成分と相変化型配録媒 体上の光スポットの状態変化にかかわる相変化型記録媒 体上の光スポットのパワー変動成分とを区別して制御で 信号を一定に保つように前配光顔の発光パワーを制御す き、これらの各々の特徴を生かした最適な記録パワーで データ記録を行うことができる。

一を制御することに優先して前配第1の光検出器の出力 [0079] 精水項9記載の発明によれば、静水項8配 轍の記録再生装置において、前記発光パワー制御手段は データ記録時に前記第2の光検出器の出力信号を前記第 2の配億手段の配億値に保つように前配光源の発光パワ 媒体上の光スポットのパワー変動をまず抑えた上でさら に光原出力変動の検出値による光原発光パワー制御を行 借号を一定に保っように前配光頭の発光パワーを制御す るので、大きな記録状態変化の要因となる相変化型記録

[図面の簡単な説明] うことができる。

うことができ、より最適な配録パワーでデータ記録を行

[図1] 請求項1記載の発明を適用した光ディスク装置 の一例を示す概略図である。

【図2】回例の動作フローの一部を示すフローチャート

【図3】回例を説明するための図である。

【図4】同例の再生信号例を示す波形図である。

【図5】同例に用いられる相変化型配験媒体のレイアウ ト例を示す図である。

【図6】同例の相変化型配録媒体の合焦時の光スポット

[図]

唐 雪雪 再生信号 3 再生信号

米へかド

強度分布を示す図である。

[図7] 同例の相変化型配録媒体のチルト時の光スポッ ト強度分布を示す図である。

[図8] 同例の相変化型配録媒体のデフォーカス時の光 スポット強度分布を示す図である。

【図9】 請求項3配載の発明を適用した光ディスク装置 の一例の動作フローの一部を示すフローチャートであ 【図10】請水項4記載の発明を適用した光ディスク装 間の一例の動作フローの一部を示すフローチャートであ

10

[図11] 請求項5記載の発明を適用した光ディスク装

【図12】 請求項6 記載の発明の一実施例の一部を示す 質の一例の一部を示すプロック図である。

斜視図である。

【図13】同実施例の一部を示すプロック図である。

【図14】 請求項7 記載の発明の一実施例の一部を示す

ブロック図である。

【図15】請求項8記載の発明の一実施例の一部を示す 【図16】光ディスク装置における相変化型配録媒体上 ブロック図である。 20

の光スポットの中心でのピークパワーと相変化型記録媒 体のチルト、相変化型記録媒体上の光スポットのデフォ -カスとの関係を示す特性図である。

【符号の説明】

光ディスク 米ヘッド 12

30

米华米 **予海体フー**が 24, 26, 28 23

光検出器 アペーチャ的材 減算器 25, 27 37,45 35

記憶手段 [図4] 38,44

3

줎

スポット監察を布 ---清女パワ-的像パワー

<u>z</u>

5-9領域に情報 ま記録す8

温度

国5-94解线0·5情 報±再生する

トラック方向 位置

再生信号から最適な 記録パワー:消費パワーを求める

RET

[図7]

Ę

トラック母子

[図5]

*

g

[図12]

[8]

444 466 4005

8.88 8.88 gg gg

772 83

22.2

ア・タンーン

88

-15-

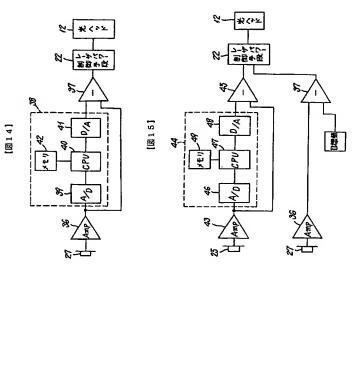
4.4

(図10)

[6図]

記會後行

記錄統計



再生信号チェック

23 起餘中断

25.

入力データストップ

入力データストップ

57、起錄17-18年

35 军统师-歌客

神論

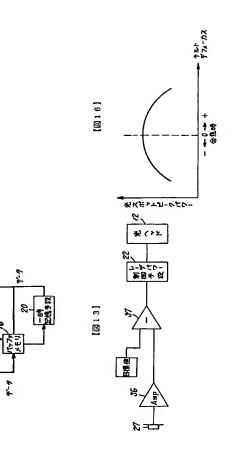
2000年第二日

87~起餅再開

[図11]

17-975-F

17-929-F



-14-

-13-